

年頭のご挨拶～これからの四半世紀に向けて～



NPO 法人 日本不動産カウンセラー協会  
理事長 河野 擴

新年を迎え、当協会の活動にご理解・ご支援をいただいている各分野の方々、並びに当協会の会員の皆様のご健勝とご発展を心より祈念申し上げます。

我が国での政権交代をはじめ、主要国の首脳が相次いで交代・再選され、経済面でも混迷が続いた激動の2012年が終わり、世界各国とも大きなパラダイムの転換が求められながら13年がスタートしました。年末にかけて、米国の財政の壁、EU諸国の財政危機・信用不安、さらには新興国経済の減速懸念の解消等に一定の目処がついたことで、世界経済も徐々に改善基調にシフトして行くものと期待されています。

しかし、未だ先行き不透明な政治・経済状況下では、我々の諸々の活動が消極的に陥りがちでありますので、こうした時こそ、直面する課題の原点を究明し、避けがたい試練として受け止めることによって、その試練を自ら受容しながら新たな対応スキームを構築して行くという“ブレイクスルー思考”が必要となってくると料します。

さて、当協会は創設以来、ほぼ四半世紀に亘って、魅力ある研修の企画・実施、財政の基盤の強化、不動産戦略アドバイザー資格制度の創設・改善、新たなビジネスモデルの研究・開発・実践等を通じて社会貢献に努めて、着実に成果を上げております。

最近の活動の一端をご紹介しますと、当協会では不動産市場のグローバル化の潮流に対応するため、昨年11月初めに世界的権威と長い歴史を有するRICS（英国王立チャータード・サーベイヤーズ協会）と業務提携を結び、両団体が協力して情報・知識・技術等のあらゆる分野で交流を促進し、ひいては世界の健全な不動産市場の形成に貢献することと致しました。また、世界中で広く活用されている同協会発行の「RICS評価基準2012（Red Book）」を当協会に設置した特別委員会で翻訳し、11月末に日経BP社より同書が発刊される運びとなり、関係分野の方々から好評を得ているところであります。

当協会では、各委員会の委員長・業務分科会の幹事が中心となって、会員各位の要望を反映しながら、それぞれの所管事業を積極的かつ精力的に進めており、今後とも役員が一丸となって、増大傾向にある“不動産コンサルティング業務”のニーズに対し、よりの確に対応するための諸策を講じて、会員メリットの向上と当協会の社会的使命を果たして行く所存であります。

本年も、引き続き関係各位のご理解・ご支援を切にお願い申し上げます。